

第64回

感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ

# 全国植樹祭

とっとり 2013

## 実施計画〔概要版〕



鳥取県

## 第1章 開催概要

1 開催方針	1
2 開催理念	2
3 県民運動について	3
美鳥の大使による美しい国づくり運動の概念	4
4 大会テーマ	5
5 シンボルマーク	5
6 大会ポスター原画	5
7 開催日	6
8 主催	6
9 開催規模	6
10 東日本大震災復興支援	6
11 開催地概要	7

## 第2章 式典行事計画

1 基本方針	9
2 式典演出計画	10
3 式典進行プログラム	10
4 式典演出イメージ	11
5 式典進行計画	14

## 第3章 植樹行事計画

1 基本方針	16
2 お手植え計画	17
3 お手播き計画	18
4 代表者記念植樹計画	19
5 森林づくりの方向性と参加者記念植樹計画	20
6 植樹会場整備計画	22

## 第4章 会場整備計画

1 基本方針	24
2 施設配置計画	24
3 主要施設計画	27
4 サイン計画	28
5 飾花計画	28
6 電気・給排水・通信設備計画	28

## 第5章 運営計画

1 基本方針	29
2 招待計画	29
3 参加者行動計画	30
4 受付計画	31
5 作品御覧・レセプション計画	31
6 会場内動線計画	32
7 会場おもてなし計画	33
8 昼食計画	34
9 医療・衛生計画	34

10 消防・防災・警備計画	35
11 実施本部計画	36
12 研修・リハーサル計画	37
13 雨天時・強風時対応計画	38
<b>第6章 宿泊・輸送等計画</b>	
1 基本方針	39
2 宿泊計画	40
3 輸送計画	41
4 視察計画	45
<b>第7章 荒天時式典計画</b>	
1 基本方針	46
2 会場	46
3 参加者一覧	46
4 荒天時運営計画	47
<b>第8章 県民運動計画</b>	
1 基本方針	48
2 運動の進め方	48
<b>第9章 記念事業等計画</b>	
1 基本方針	49
2 記念事業等の内容	49
3 関連事業等の内容	50
<b>第10章 広報・協賛計画</b>	
1 広報計画	51
2 協賛計画	52

# 1 開催方針

## (1)はじめに

全国植樹祭(第20回大会までは「植樹行事並びに国土緑化大会」、第21回大会からは現行の「全国植樹祭」が正式名となっている。)は、公益社団法人国土緑化推進機構と開催都道府県の共催により、昭和25年以降、持ち回りで開催されており、これまでこの大会では、天皇皇后両陛下にご臨席を賜り、県内外から多くの参加者にお集まりいただき、式典行事や記念植樹などが行われています。

鳥取県では、昭和40年5月9日、天皇皇后両陛下をお迎えし、第16回全国植樹祭を大山町で開催しました。この大会では、両陛下が、大山町上楨原においてダイセンマツ(アカマツ)をお手植えになるとともに、大山町博労座においては、ダイセンマツ、オキノヤマスギのお手播きをいただきました。また、参加者1万余人により上楨原でダイセンマツ32,000本(8ha)の記念植樹が行われました。

## (2)開催意義

県土の74%を森林が占める鳥取県は、古くから森林に恵まれ、妻木晩田遺跡や青谷上寺地遺跡等の古代・木の文化が発祥しました。

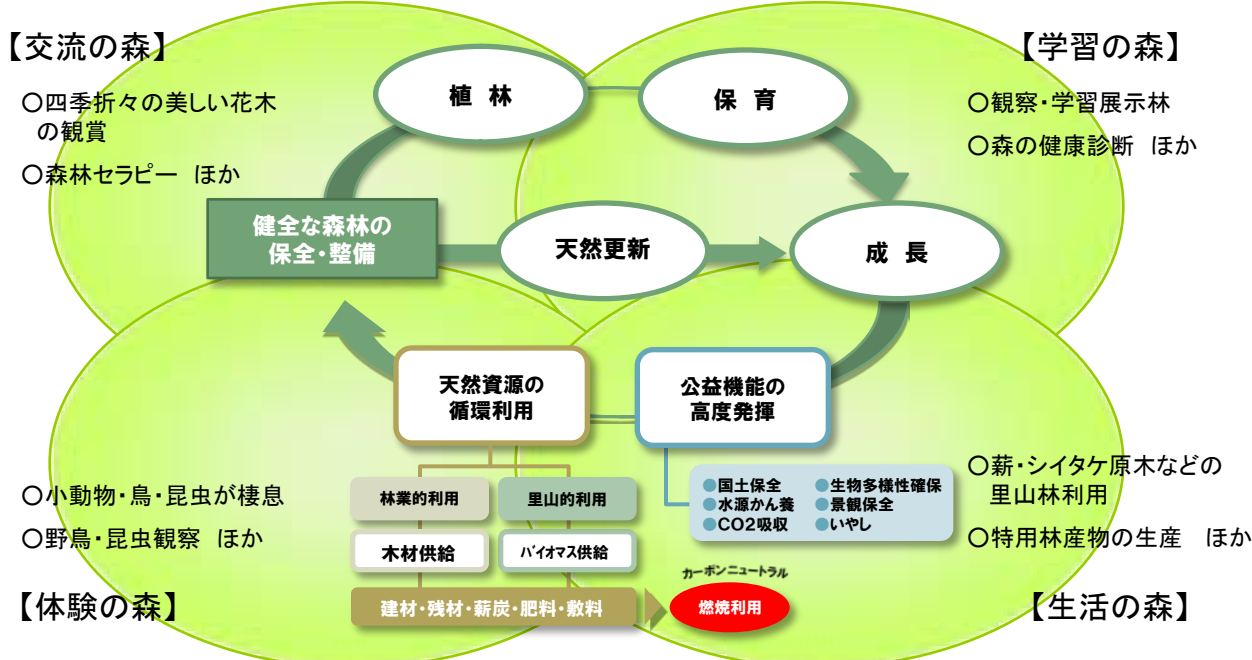
鳥取県で開催された第16回全国植樹祭は、「林種転換による拡大造林」をテーマに開催され、各地で植林が行われ豊富な森林資源の造成と林業・木材産業の活性化が図られ木の文化を継承する契機となりました。

しかし近年では、長引く木材価格の低迷、山村の過疎・高齢化の進行等により林業離れが加速し、全国的に手入れの行き届かない人工林が増加しています。また、前回大会でのお手植え樹種であったアカマツ等マツ林は、その後のマツクイムシ被害の急速な拡大により、機能低下を招いています。

その他、シカによる造林木への被害、放置竹林の繁茂、カシノナガキクイムシによるナラ枯れなど、新たな被害も拡大し、森林としての機能が急速に失われつつあります。

平成25年の全国植樹祭は、森林の機能を復活させるために、木材資源の循環利用を図りながら、県民全体で推し進める森林づくりのモデル林を整備し、「持続可能な森林づくり」を始める契機として開催します。

### 【持続可能な森林づくりのイメージ】



## 2 開催理念

京都議定書の発効以降、森林のCO<sub>2</sub>吸収機能への国民的関心は高まっており、県内各地では「とっとり共生の森」や「森林環境保全税」、カーボンオフセットを活用した森林整備を始めとする、企業や県民による森林保全活動の輪が広がりつつあります。

また、平成23年に開催されたCOP17(気候変動枠組条約第17回締約国会議)において、平成25年から森林吸収量の算定手法に、新たに自国産の伐採木材製品に含まれる炭素量が認められることとなり、森林の果たすべき役割が益々重要となってきます。

このような中、平成25年に開催する全国植樹祭では、環境先進県「とっとり」の活動を県内外に発信し、今後更に森と親しみながら共生していく社会の実現を目指します。

### ■平成22年：国際生物多様性年

COP10(生物多様性条約第10回締約国会議)を名古屋市で開催。生物多様性に関する世界目標(2011～2020年)が採択され、生物多様性損失に対する国民の危惧が今まで以上に高まる。

### ■平成23年：国際森林年

持続可能な森林経営等について認識を高めるよう、国際的な取り組みを実施。

#### 【世界情勢】

#### ■平成25年：京都議定書第二約束期間のスタート

平成24年にカタールで開催されたCOP18(気候変動枠組条約第18回締約国会議)で、約束期間が切れる京都議定書を平成32年末までの8年間延長(第二約束期間)が決定。

平成32年(2020年)に大排出国である中国や米国を含めた新たな枠組みの発効を目指すため、平成26年(2014)に素案を作成し、翌年のCOPで採択する作業に入る。

#### 【日本の動き】

#### ■平成25年：新たな環境戦略のスタート

京都議定書第二約束期間には参加しないものの、新たな枠組みの下でも国際貢献が出来るよう引き続き温室効果ガスの排出削減努力を続ける。

「国際森林年」の平成23年に南アフリカで開催されたCOP17では、森林吸収量の算出手法において間伐や植林のほかに新たに自国産の伐採木材製品に含まれる炭素量が認められることとなり、炭素貯蔵や化石燃料などの代替効果が期待される木材利用の拡大を推進する。

特に、間伐や路網整備の推進、木造公共施設やバイオマス利活用施設の整備、木材利用ポイント制度の普及や山村地域の雇用機会創出などで、地域の基幹産業である林業の活性化を図る。

## 環境先進県「とっとり」をアピール

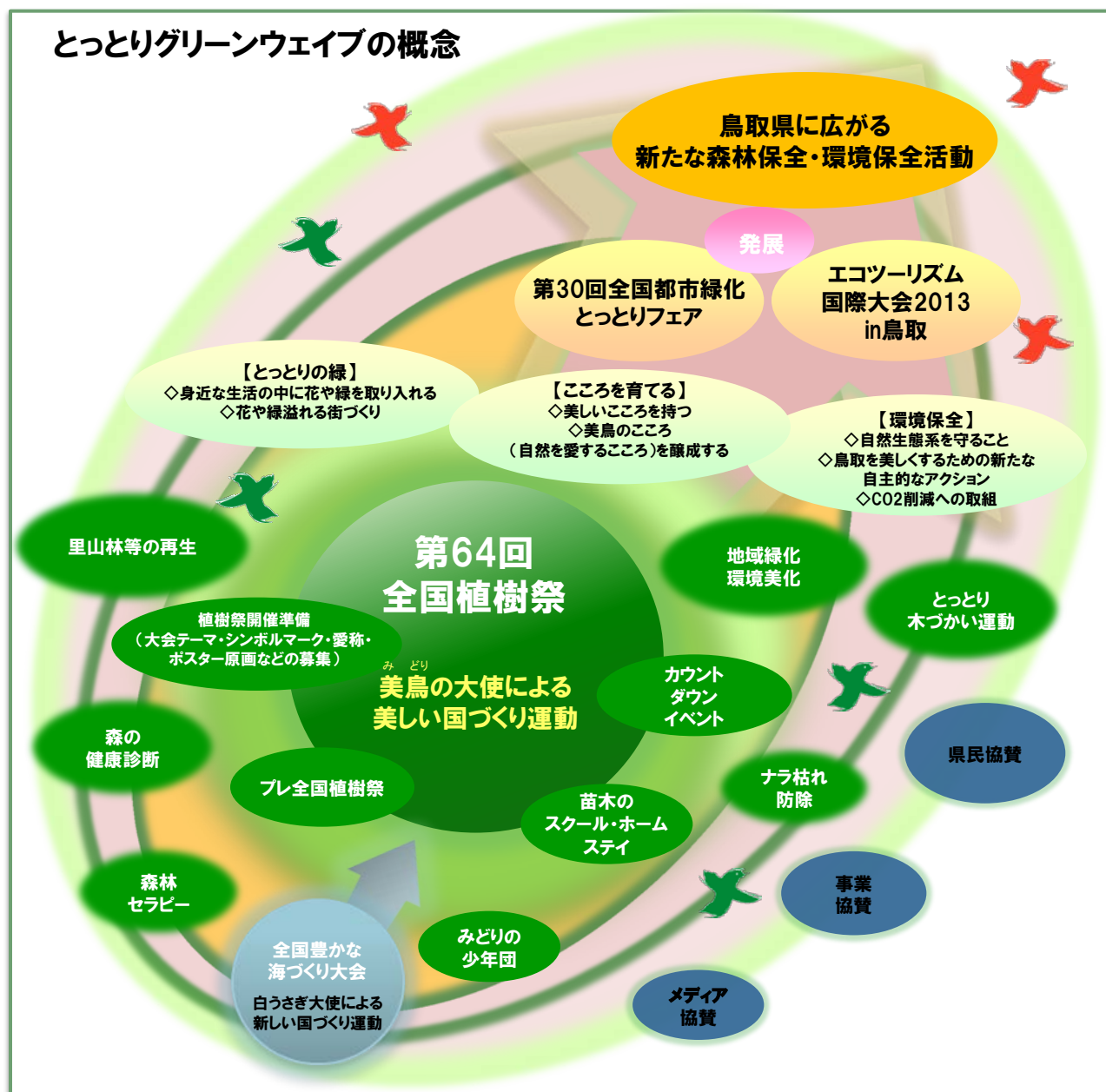
### □平成25年：第64回全国植樹祭鳥取県開催

持続可能な森林づくりによる地球環境の保全や、里山林等森と親しみながら共生してゆくライフスタイル、就業スタイル等の

**「心癒される森林づくり」を推進します。**

### 3 県民運動について



- 第64回全国植樹祭の開催を契機に、県民、企業、ボランティア等の多くの皆さんが環境保全活動に取り組み、自ら行動する県民運動「とっとりグリーンウェイブ」の気運を醸成し、緑豊かな鳥取県から環境の良さを全国にアピールする県民運動として発展させ、県民運動の中心となる人々を「**美鳥(みどり)の大使**」と位置付けます。
- 美鳥の大使による県民運動は、第64回全国植樹祭と同じ平成25年に鳥取県で開催される「第30回全国都市緑化とっとりフェア」「エコツーリズム国際大会2013in鳥取」へと発展・承継させ、環境日本一の鳥取県を目指します。



＜美鳥の大使が目指すもの＞  
 地域で取り組む植樹や育林、木づかい運動、環境美化、水産業振興、緑や自然を生活に取り入れたり親しんだりする活動などに取り組む人々が相互につながり合い、県全体にその輪が広がる運動とする。

みどり  
〔美鳥の大使による美しい国づくり運動の概念〕

新たな国造り運動に参加する白うさぎ大使から「引き継ぐDNA」

	<b>Dynamic</b>	力強い	
	<b>Nature</b>	自然界	
	<b>Advance</b>	前進	



全国植樹祭「とっとりグリーンウェイブ(県民運動)」に参加いただくすべての県民が「広めるDNA」

みどり  
美鳥の大使による美しい国づくり運動

**波及・拡大**

	<b>Daily</b>	日常の	
	<b>Near</b>	身近な	
	<b>Action</b>	行動	



全国植樹祭終了後も継続した取り組み(ポスト植樹祭)を行うすべての県民が「進化させるDNA」

**進化**

◆植樹会場の手入れ(花回廊・鏡ヶ成高原) ◆地域植樹会場での体験型イベント等		<b>Discover</b> 発見 <b>Newborn</b> 新生 <b>Activity</b> 活動	◆第30回全国都市緑化とっとりフェア ◆エコツーリズム国際大会2013in鳥取
---	---	---	--

第64回全国植樹祭開催後も「美鳥の大使」のDNAを広め進化させる  
**県民総参加による美しい国づくり(森林づくり)を推進**

## 4 大会テーマ

# 「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」

作者: 宇田川 葉(うだがわ しおり)さん (鳥取県立米子南高等学校2年生) ※平成23年度現在

〔講評〕

森のめぐみや緑を守り育ててくれた先人への感謝の気持ちと、緑の豊かさを次代に継承していこうという強いメッセージがこめられています。

## 5 シンボルマーク

〔シンボルマーク〕

※全国公募により選定しました。

○制作意図

鳥取県の鳥と樹木を合わせたデザインで、全体の輪郭は大山の形もイメージさせ、首から提げた双眼鏡には森の観察を呼びかけるメッセージが込められています。また、胸のハートマークで大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を表現しています。

○作者

伊藤 うちゅぶ(いとう うちゅぶ)さん ※ペンネーム  
(千葉県八千代市)

〔シンボルマーク愛称〕

※鳥取県内在住の方を対象に募集し、選定しました。

○制作意図

「鳥取」と「木」を組み合わせ、インパクトのある親しみやすい愛称にしました。

○作者

武海 博華(たけうみ ひろか)さん  
(鳥取県西伯郡南部町)

〔マーク〕



〔愛称〕

「トッキーノ」

## 6 大会ポスター原画

※鳥取県内の小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に募集し、選定しました。

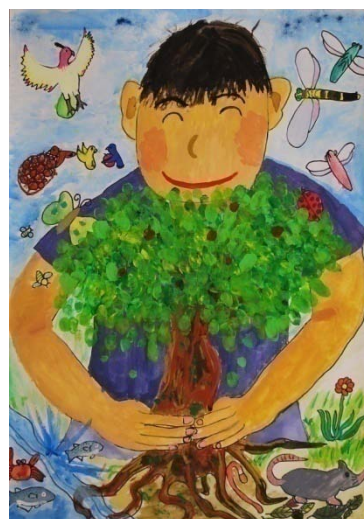
○制作意図

緑や生き物に囲まれて、笑顔で生活できる喜びを表現しました。

○作者

中家 秀斗(なかいえ しゅうと)さん  
(鳥取市立西郷小学校 5年) ※平成23年度現在

〔画題〕 自然がいっぱい





## 7 開催日

平成25年5月26日（日曜日）

## 8 主催

公益社団法人国土緑化推進機構、鳥取県

## 9 開催規模

お手植え行事及び式典行事の参加者数は、5,000人程度の県内外招待者と、2,000人程度の県内協力者及びスタッフ等としますが、荒天の場合は、1,000人程度の招待者等とします。

区分	参加予定者数	備考
県外の招待者	1,500人	国関係者、被表彰者、他県参加者等
県内の招待者	3,500人	県議会、市町村関係者、緑化関係団体、公募参加者、県実行委員会等
本部員・協力員	2,000人	実施本部員、出演者、運営ボランティア等
総計	7,000人	

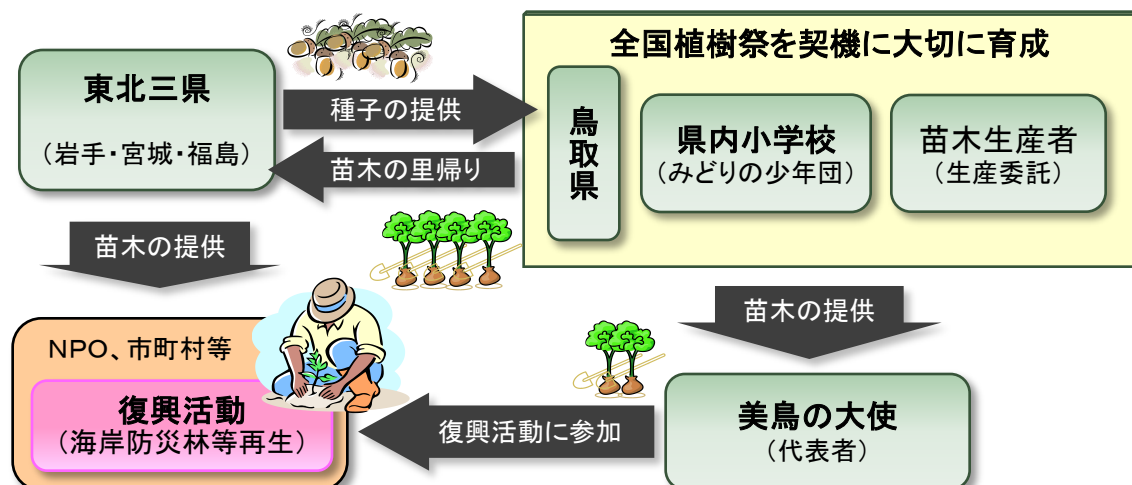
## 10 東日本大震災復興支援

(1) 『『みどりのきずな』再生プロジェクト構想』に基づく海岸防災林の再生支援  
(とうほくとっとり・森の里親プロジェクト)

○全国植樹祭において復興支援を盛り込み発信することで、被災地の方への励ましと更なる支援の輪の広がりを図るものとします。

○被災地から採取した種子を本県で育成し、苗木を里帰りさせる活動を全国植樹祭で紹介します。

【取り組みのイメージ】



(2) 東日本復興支援使途限定「緑の募金」活動

○公益社団法人国土緑化推進機構が実施している東日本復興支援使途限定「緑の募金」活動を実施し、被災地の「森づくり・木づかい」運動を支援します。

- ・300円以上の募金で、「緑の募金」ピンバッチを1個進呈します。
- ・「緑の募金」200円につき、「トッキーノ」ピンバッチを1個進呈します。

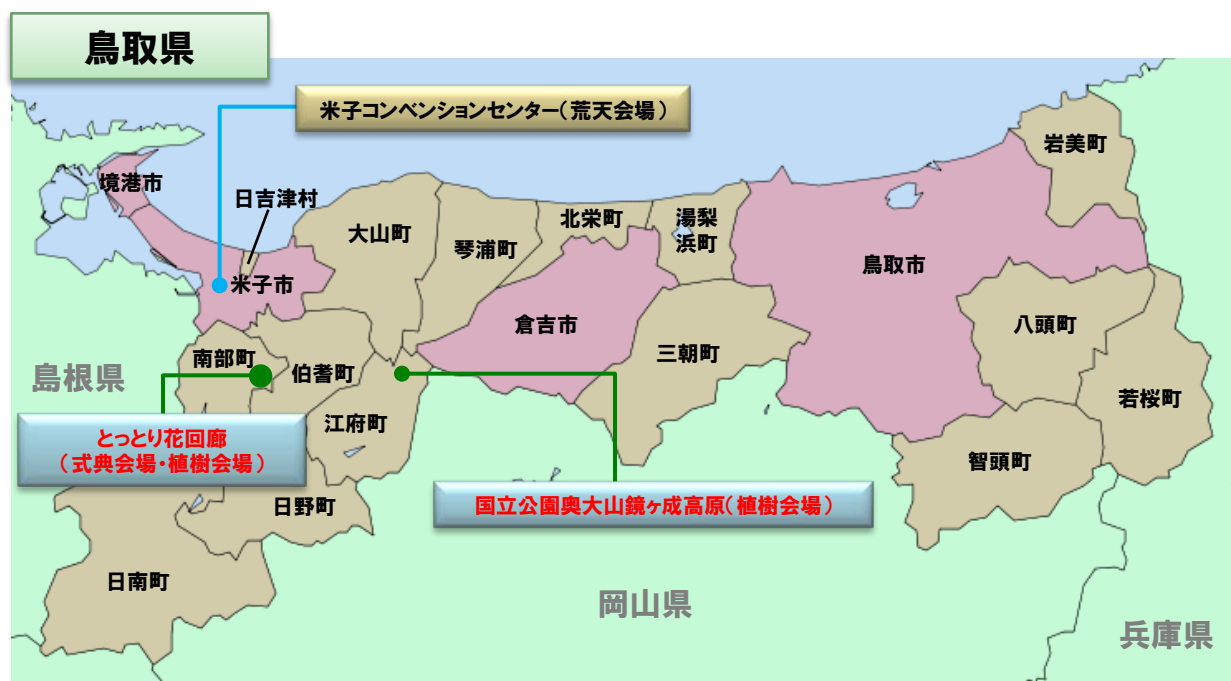


「緑の募金」ピンバッチ



「トッキーノ」ピンバッチ

11 開催地概要



## (1) 式典会場・植樹会場

式典会場:とっとり花回廊(南部町鶴田 5,000人が参加)

植樹会場:とっとり花回廊いやしの森(伯耆町小野 式典参加者のうち4,500人が参加)

県立の施設として1999年4月に開園した、大山を間近に望む日本最大級(約60ヘクタール)のフラワーパーク。多彩な植え替え花壇、大温室「フラワードーム」や展示館、周囲1kmの屋根付き展望回廊など、天候に左右されず一年中花が楽しめます。自然の起伏や森林を活かした広大な自然環境の中、季節の移り変わりを存分に味わうことができます。開園時からオランダの世界的な花の名園「キューケンホフ公園」と交流しており、2010年に姉妹公園の覚書を締結しました。



フラワードーム



花の谷(キューケンホフコーナー)

## (2) 植樹会場

国立公園奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森(江府町鏡ヶ成 500人が参加)

烏ヶ山の南麓に広がる大平原で、清流の流れる溪谷とブナをはじめとする森に囲まれた標高900m前後の景観優美な高原です。高原の上方は、国民休暇村やキャンプ場が整備され、冬はスキー、夏は避暑地として人気があり、下方は広大な農地に開拓されているほか、豊かな水を活かしてミネラルウォーターが生産されています。



休暇村 奥大山

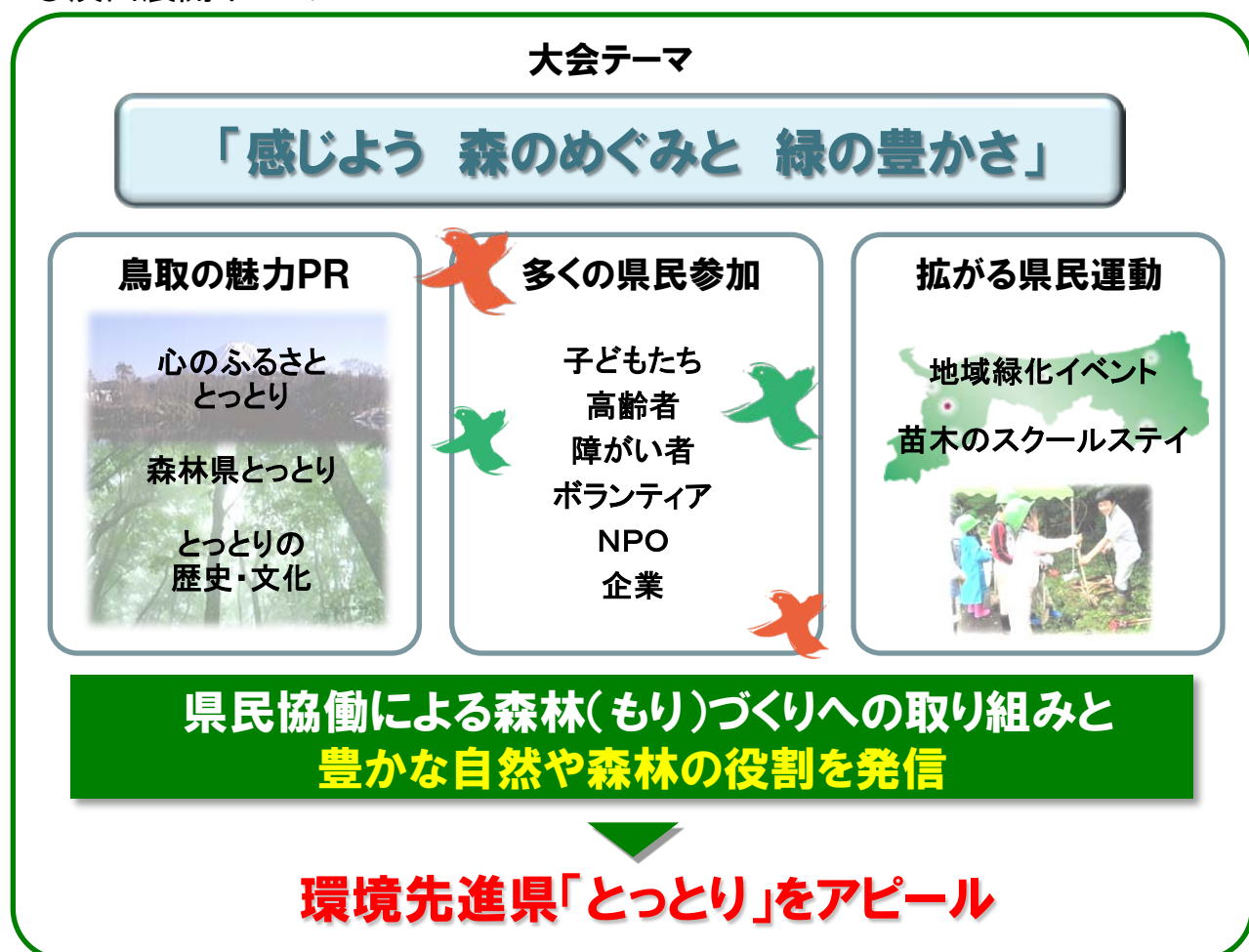


溪谷で水に親しむ子どもたち

## 1 基本方針

- 大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を、参加者や全国の人々に分かりやすく伝え、魅力あるふるさと「とっとり」を支える豊かな自然や森林の役割を発信します。
- 「森は海の恋人」と言われるように、きれいな海を守るためには豊かな森が必要であるという、森・川・海のつながりを表現します。
- 豊かな自然に囲まれた大山の雰囲気を活かして、鳥取の自然の魅力や歴史、文化、産業を全国にアピールし、「また鳥取に行きたい」と感じてもらう構成とします。
- 環境に配慮された手作りの式典とします。
  - ◇「とっとり共生の森」参加企業をはじめとする環境先進企業、NPOなど、多様なボランティアによる協力をいただきます。
  - ◇式典を通じて排出されたCO<sub>2</sub>を、鳥取県内で認証取得したJ-VERで相殺します。  
※J-VERとは：環境省オフセット・クレジット（J-VER）制度により認証された、CO<sub>2</sub>の削減・吸収クレジットのこと。
- 多様なボランティア、子どもたち、高齢者、障がい者など多くの県民や、大会に賛同いただいた企業等が参加できるよう配慮し、県内みどりの少年団等の協力を得ながら、鳥取らしく来場者を温かくおもてなし、歓待します。
- 司会者、式典進行介添え役、式典音楽隊、アトラクション等の出演者及び演出家等については、地元をはじめ、県内関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。

### ◎演出展開イメージ



## 2 式典演出計画

○式典の構成は、プロローグ、記念式典、エピローグの3部構成とします。

区分	演出テーマ	演出の意図
プロローグ	はじまり	○参加者を歓迎する気持ちを表現する内容とし、鳥取の豊かな自然や文化、森林・林業・木材産業の紹介や県民が参加する創作劇等のアトラクションを実施します。
記念式典	はぐくみ	○天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を行います。 ○大会宣言等は開催理念を、わかりやすく表現します。
エピローグ	はばたき	○参加者を送迎しつつ、未来へのメッセージを伝え、全員でその意味を確認し、全国に発信します。

## 3 式典進行プログラム

時間	区分	プログラム	進行内容
10:10	プロローグ	プロローグ案内	鳥取の豊かな自然と、その自然に培われた歴史・文化・産業等を表現
		歓迎演出	
10:50	記念式典のご案内		
11:00	記念式典	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	
		表 彰	森林や自然を育み守ってきた緑化功労者への感謝として表彰
		苗木の贈呈	
		天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き	
		参加者代表記念植樹	
		大会テーマ表現	環境先進県とっとりが目指す森林づくり、「美しい国づくり運動」を発信し、大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を創造的に表現
		東日本大震災復興支援	
		大会宣言	
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
	閉会のことば		
11:50		天皇皇后両陛下 御退席	
12:00	エピローグ	エピローグ案内	未来へのメッセージを発信し、来場者参加型演出により会場全体を盛り上げ
12:20		エピローグ演出	

## 4 式典演出イメージ

### プロローグ 「はじまり」

「森・川・海」のつながりをパフォーマンスで表現し、木や森と共生することの大切さを、子どもと木の精との語らいで綴る創作劇で表現します。

#### 「はじまり」のメッセージ

○酸素をイメージした風船をもった子どもたちと葉っぱをイメージしたハンカチをもった子どもたちのパフォーマンスで、酸素・水の供給源としての森林を表現します。

○出演者の衣裳の色で森や川や海を表現し「森は海の恋人」のメッセージを発信します。

○大山の自然の映像とともに、木のオブジェが登場、命の営みを見守り続ける森林・自然を表現します。



### 創作劇「大山森話」

脚本・演出「鳥の劇場」中島諒人芸術監督

○子どもと木の精との語らいを中心に人間と木との共生を表現します。

○葉っぱや風、そこに棲む鳥や蝶でとっとりの森を表現します。



## 記念式典 「はぐくみ」

第64回全国植樹祭で設定する「4つの森」を背景に、森を大切に育んでいくという強い想いを、美鳥の大使がメッセージします。

天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言等を行います。



天皇陛下のお手植え



皇后陛下のお手播き

## 大会テーマ表現：「はぐくみのメッセージ」

- 「森への想い」や林業を取り巻く現状を表現します。
- 「交流の森」「学習の森」「体験の森」「生活の森」への想いをパフォーマンスとメッセージで表現します。
- 森と人間の共生を呼びかけ、大会テーマを表現します。



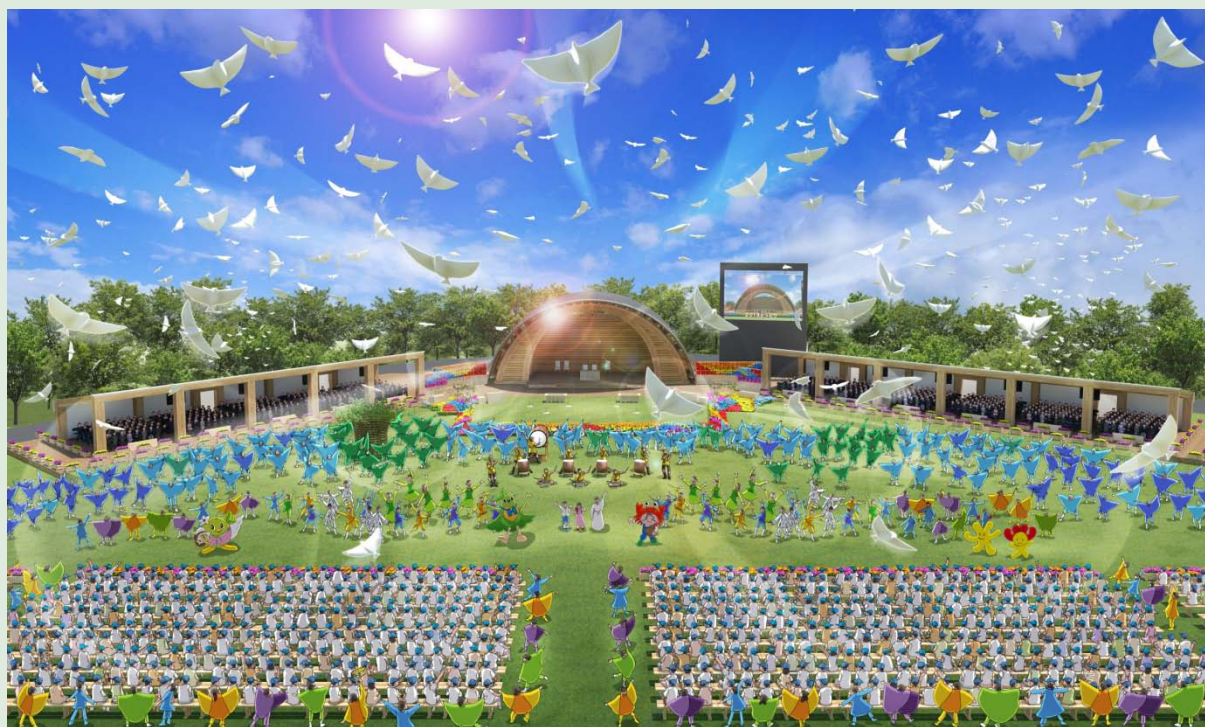
## エピローグ 「はばたき」

全出演者と招待者、会場全体の一体感を創出し、未来に向けてのメッセージとともに大空にむけてグランドフィナーレを飾ります。

### エピローグ：「はばたき」のメッセージ

○出演者と招待者が全員参加できる音楽と演出で、会場全体の一体感を創出し、未来に向けてグランドフィナーレを飾ります。

○鳥型風船を放天し、鳥取県から全国へ羽ばたく「美鳥の大使」を表現します。  
※鳥型風船は生分解性の素材とします。





## 5 式典進行計画

## (1)進行スケジュール詳細

時間	プログラム	登壇者・出演者	映像	音楽
7:30 ～ 10:00	参加者入場開始			BGM、CD
	おもてなし広場オープン		インフォメーション 文字等	
	プロローグ案内、インフォメーション		インフォメーション 文字等	
◆プロローグ 「はじまり」				
10:10 ～ 10:50	「とっとり」の映像「鳥取の自然・歴史・文化、産業など」県の紹介映像			CD
	「はじまり」のメッセージ			CD
	創作劇「大山森話」			CD(録音)
	大会概要紹介			
	感謝状贈呈 ○大会テーマ ○シンボルマーク ○シンボルマーク愛称 ○大会ポスター原画	贈呈：鳥取県知事 受贈：各被表彰者		吹奏楽、合唱
	記念切手贈呈	贈呈：郵便事業株式会社 受贈：鳥取県知事		吹奏楽、合唱
	記念式典のご案内～(待機)			
◆記念式典 「はぐくみ」				
11:00 ～	天皇后両陛下 御到着	御先導：鳥取県知事 お出迎え：大会会長、 国土緑化推進機構理事長		ファンファーレ(吹奏楽：金管) 吹奏楽、合唱
	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長		ファンファーレ(吹奏楽：金管)
	三旗掲揚・国歌斉唱	みどりの少年団 日本ボーイスカウト鳥取連盟 ガールスカウト日本連盟鳥取県連盟		吹奏楽、合唱
	主催者挨拶	大会会長、鳥取県知事		
	表彰(4団体) ○国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール ○緑化功労 ○全日本学校関係緑化コンクール ○鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰	大会会長  農林水産大臣 文部科学大臣 鳥取県知事 受賞者代表		弦楽
	苗木の贈呈	贈呈：みどりの少年団 受贈：農林水産大臣、環境大臣		吹奏楽、合唱
	お手植え・お手播き 参加者代表記念植樹	御先導：国土緑化推進機構 理事長、鳥取県知事 介添え：みどりの少年団、 日本ボーイスカウト鳥取連盟、 ガールスカウト日本連盟鳥取県連盟		吹奏楽、合唱
	大会テーマ表現 「はぐくみ」のメッセージ			吹奏楽 弦楽
	東日本大震災復興支援	贈呈：鳥取県知事、 みどりの少年団 受贈：被災地代表者		CD

時間	プログラム	登壇者・出演者	映像	音楽
11:50 ～	大会宣言	国土緑化推進機構理事長		ファンファーレ(吹奏楽:金管)
	リレーセレモニー ○大会シンボルの引き継ぎ ○新潟県知事のあいさつ	鳥取県知事 新潟県知事 介添え:みどりの少年団		CD
	閉会のことば	鳥取県議会議長		ファンファーレ(吹奏楽:金管)
	天皇皇后両陛下 御退席	御先導:鳥取県知事 お見送り:大会会長、 国土緑化推進機構理事長		弦楽
	記念式典終了			
◆エピローグ「はばたき」				
12:00 ～ 12:20	エピローグ案内			
	エピローグ演出 「はばたき」のメッセージ	みどりの少年団、出演者全員		吹奏楽、金管 弦楽、合唱
	おもてなし広場再開		インフォメーション 文字等	